**事業者部門会議の概要**

１．テーマ　　下水熱利用（第１回）

２．目　的

・主にエネルギー利用の多い業界に向け、下水熱利用の有用性を紹介するとともに、実際の利用

にあたっての課題を引き出し、今後の下水熱ポテンシャルマップを活用した事業展開に向けての施

策を検討する。

３．会議の開催

（１）日　時：平成28年11月29日 (火)　 10時30分～12時

（２）場　所：大阪府咲洲庁舎18階　会議室

（３）出席者：(公社)関西経済連合会、大手前病院（（一社）大阪府病院協会　推薦）、株式会社ロイヤルホテル（（一社）日本ホテル協会大阪兵庫支部　推薦）、近畿百貨店協会、大阪ガス都市開発株式会社（（一社）大阪ビルディング協会　推薦）

　　　　　 エネルギー供給事業者：関西電力(株)、大阪ガス(株)、オリックス(株)

　　　　　 下水熱利用関係事業者：積水化学工業(株)

（４）概　要

・下水熱利用に関する国の動き、大阪府域での下水熱利用の可能性や、下水熱ポテンシャルマップ作成などの大阪府の推進施策について情報共有した。

・下水熱利用の基礎知識について、下水熱利用システムの概要、全国の導入事例を中心に、

積水化学(株)、関西電力(株)よりご紹介いただき、意見交換を行った。

（５）会議での主な意見

　　・下水熱利用システムを施設に導入しようとする場合、基本的には建物の新築のタイミングが前提

となるのか。コスト等も考慮した場合、既存施設への導入はありうるのか。

⇒　新築の方が検討しやすいが、施設のロケーションや配置、下水管との位置関係など、条件がそろえば、既築でも導入は可能。

　　・施設の前に下水管が通っていない場合は、引っ張ってくることになるのか。

　　　⇒　仙台や大阪の導入事例では、約90m持ってきている。これが約200mまでが限界で、それ以上になるとコスト的に合わなくなる。

　　　⇒　ロケーションなどの条件も含めて、施設で導入可能性がありそうかどうかを見るために、大阪府が進めている下水熱のポテンシャルマップを活用できると期待している。

　　・費用対効果に関するイメージがないと関係団体に説明するのは難しい。補助金ありきなのか、補

助金なしでも成立しうるのかなど。ある程度定型化されたパターンで整理できればよい。